

〈報道関係のみなさま〉

## 特集 報道とジェンダー

「月刊 Journalism」9月号発売！

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)は9月9日(金)、「月刊 Journalism」9月号を発行しました。特集は、「報道とジェンダー」です。

2020年1月、女性だけで立ち上げたメディアが米国で誕生しました。「The 19th」。創設メンバーの一人で最高経営責任者を務めるジャーナリストのエミリー・ラムショーさんに、新メディア立ち上げの動機などを聞きました。男性主導で見過ごしていた課題を、女性やLGBTQの視点でとらえなおす。そこで見えてきたものとは――。

新聞労連前委員長で毎日新聞記者の吉永磨美さんは、記者の性被害などについて取り上げています。「記者は少しでも早く、多くの情報を得るため、日夜、取材先との信頼関係を結ぼうと必死だ。そういう中で記者の性暴力、セクハラ被害は長きにわたって、隠されてきた」。労連委員長時代、ジェンダー平等推進活動の一環として編集した『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』(小学館)発刊の経緯などについて触れたうえで、業界全体での改革の必要性について指摘しています。

このほか、メディアが男性中心の組織から脱却するために結成された「メディアで働く女性ネットワーク」の活動や、「共同親権」や犯罪の報道をジェンダーの視点からみた課題について、現場の記者や弁護士、研究者の論考を掲載しています。

今月27日に安倍晋三元首相の国葬が予定されています。法的根拠が明確でないことや弔意の強制につながる、などを理由に反対の声が根強い中で挙行されます。国葬とはそもそも何なのか。どこに問題があるのか。中央大学教授の宮間純一さんに、歴史的経緯を踏まえて読み解いてもらいました。

「月刊 Journalism」は2008年10月創刊。ジャーナリズムという視点を通して、社会の諸課題と向き合っています。定価は815円(税込み)。全国の書店、ネット書店、ASA(朝日新聞販売所)で注文によってお求めいただけます。



〈お問い合わせ〉  
朝日新聞社 ジャーナリスト学校  
TEL 03-3545-0131(代表)